

# リニア環境未来都市の創造に向けて

資料4

平成30年12月17日  
山梨県



# 発表の構成

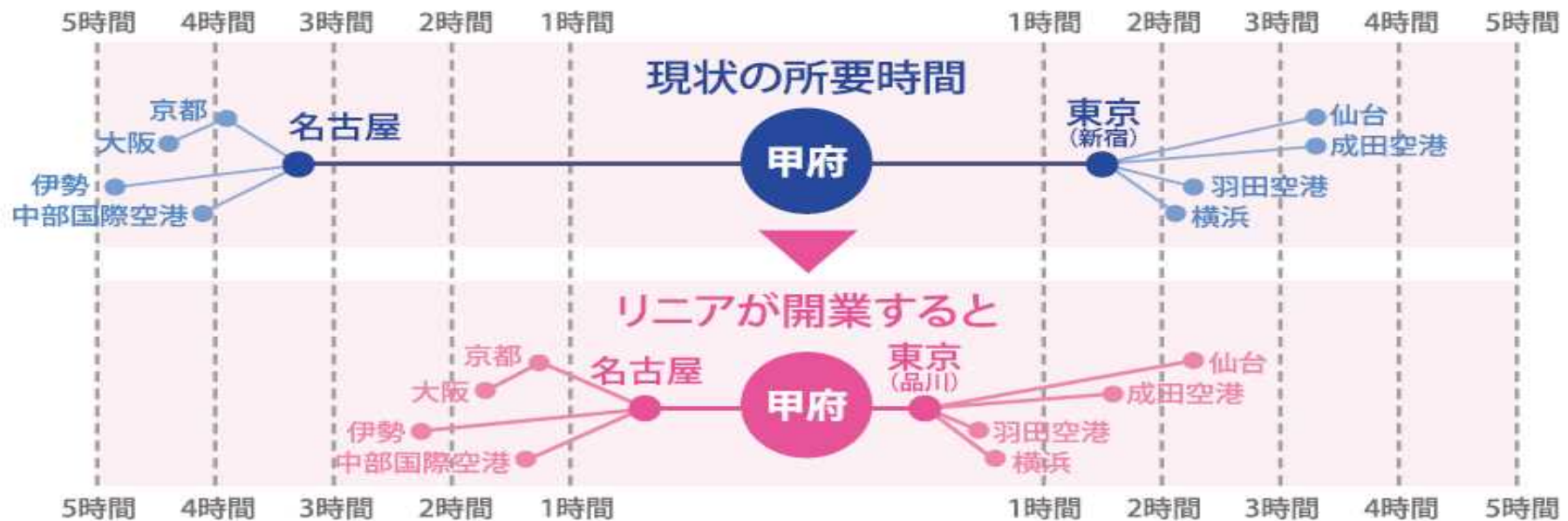
- ✓ 圧倒的な時間短縮効果
- ✓ リニア山梨県駅的位置付け
- ✓ リニア環境未来都市の創造
- ✓ 実現に向けた取り組み

# リニア中央新幹線の時間短縮効果



- 東京都心から約25分 (名古屋から約40分)
- 国際空港からのアクセス向上
- 中京圏・関西圏からの新たな軸

人と情報の交流密度が飛躍的に向上

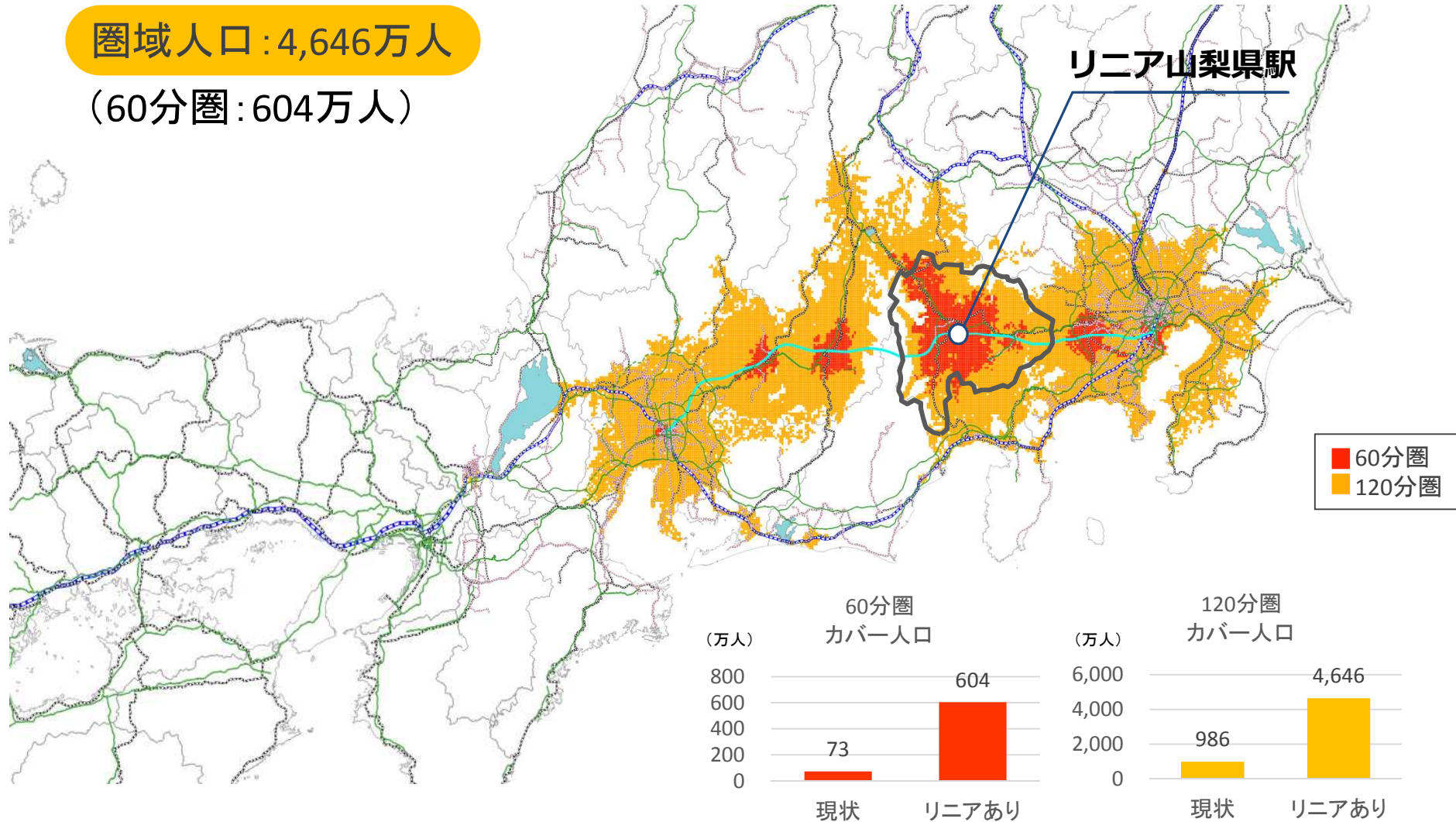


# リニア名古屋開業時の時間圏

[リニア山梨県駅起点、鉄道+道路]

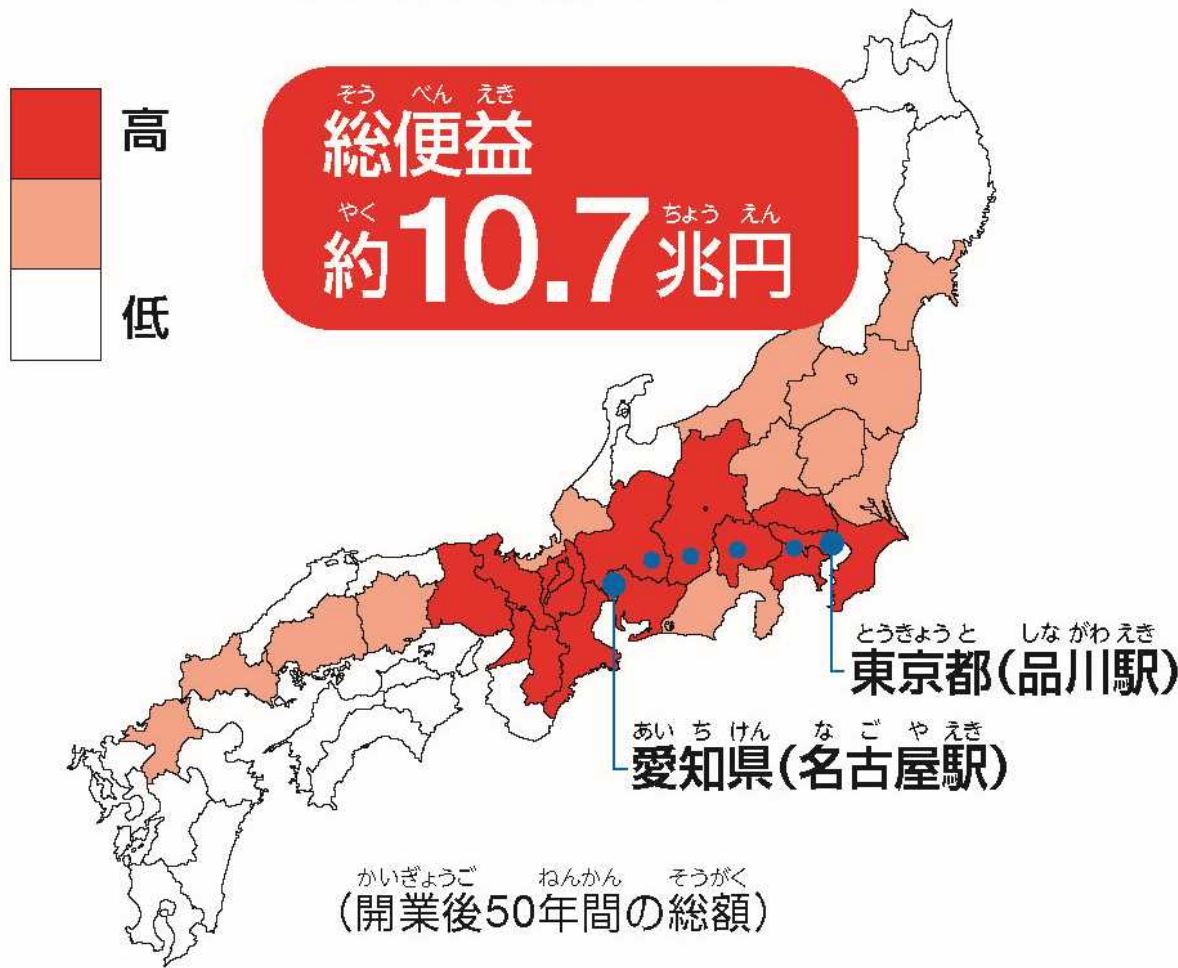
圏域人口: 4,646万人

(60分圏: 604万人)



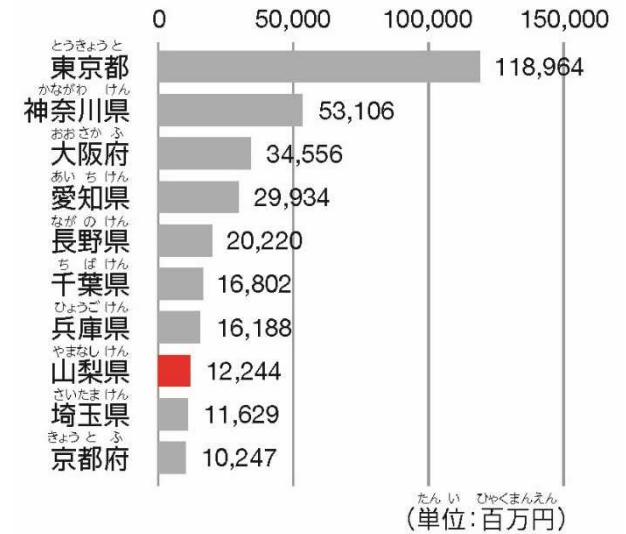
# リニア中央新幹線の経済効果

## 経済効果(便益)の広がり

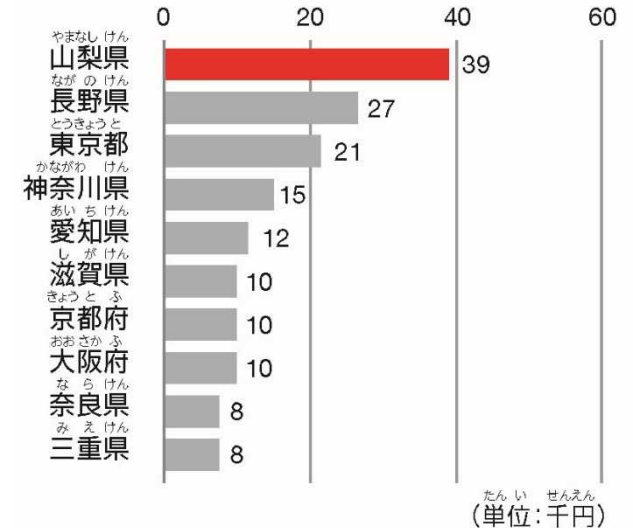


出典:三菱UFJリサーチ&コンサルティング作成

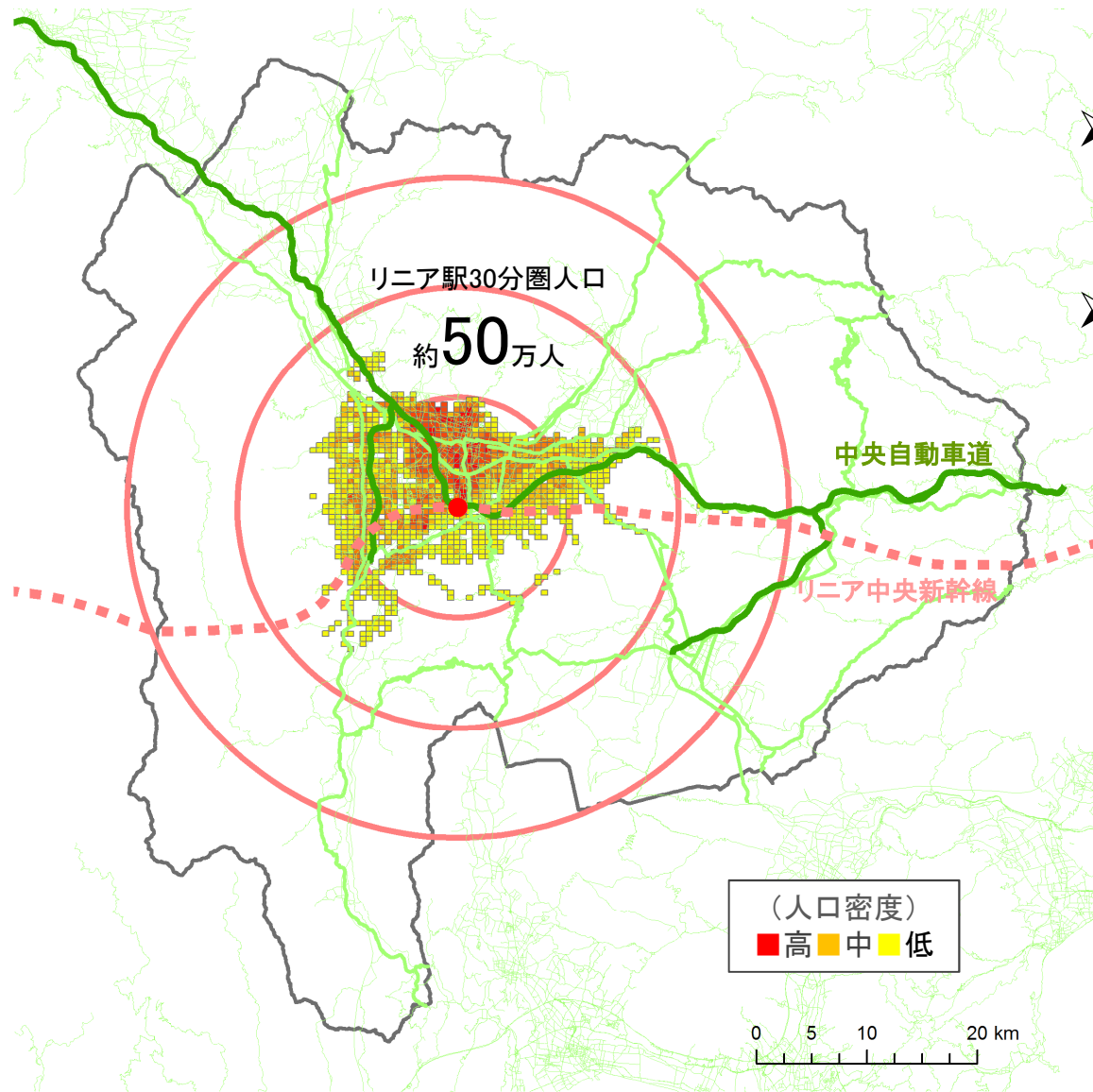
## 単年度便益トップ10



## 世帯あたり便益トップ10



# リニア駅周辺の都市規模



➤ 中間駅で唯一県庁所在地に設置されるのが山梨県駅

➤ 自動車30分圏には本県人口の約6割が居住

# リニア山梨県駅の位置



- 凡例
- 計画路線図 (新設区間 (地上部))
  - 計画路線図 (既設区間 (地上部))
  - 計画路線図 (新設区間 (トンネル部))
  - 計画路線図 (既設区間 (トンネル部))

# リニア中央新幹線と幹線道路



凡例	
(道路種別)	
高速自動車国道・地域高規格道路	
	オリンピック開催までに完成を目指す主な事業
	リニア開業までに完成を目指す主な事業
	今後検討を要する主な事業

山梨県社会資本整備重点計画(H27.12)資料より



# リニア環境未来都市の創造に向けて

## リニア環境未来都市整備方針（平成29年3月策定）

### 〈基本理念〉

- リニアの開業効果が最初に発現する場所であり、山梨らしさを最大限に生かしながら、先導的な取り組みを実践し、環境との共生や新たなライフスタイルが展開される都市
- 産業に活力をもたらし、住む人に潤いを、訪れる人に山梨らしさを提供することができる緑豊かで美しい都市
- 国内外から人々が集まり、人的・経済的・文化的交流が行われるエリアとして情報発信することで、新たな交流が更なる交流を生むという好循環を繰り返しながら、リニア開業後も含む将来にわたる時間軸の中で成長する都市

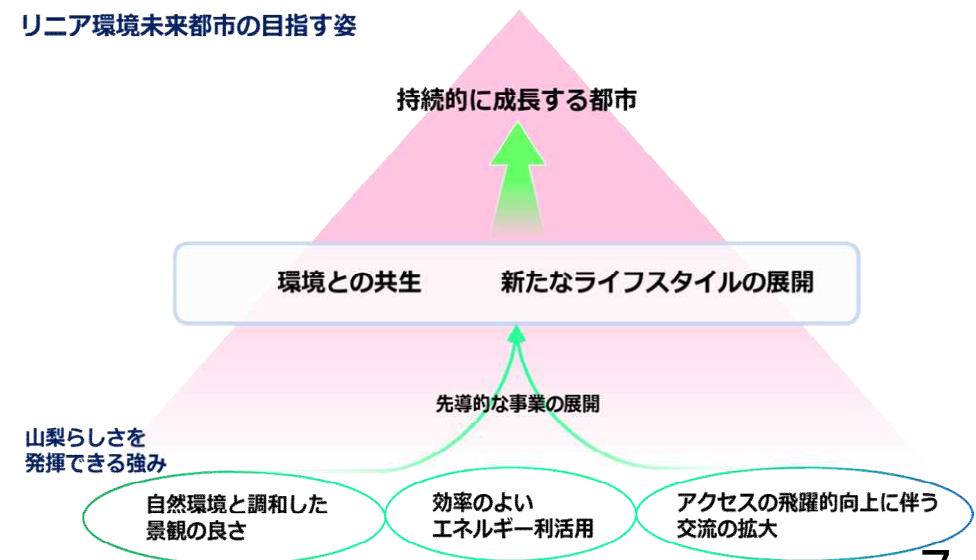
### 〈環境との共生〉

自然エネルギーの活用やエネルギーの効率的な利活用、新たな景観の形成など、環境にやさしく、自然景観を生かした生活や産業の展開

### 〈新たなライフスタイルの展開〉

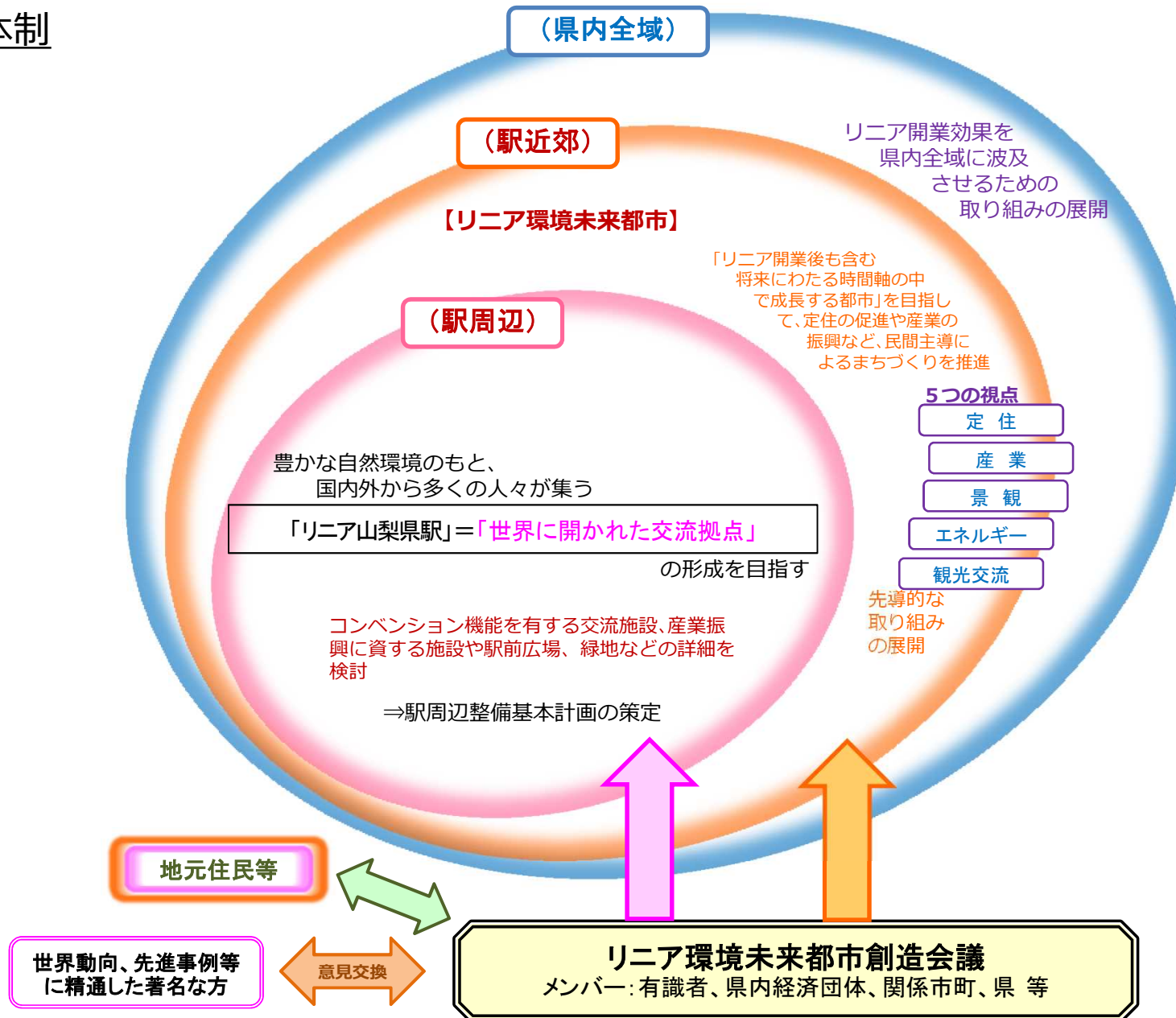
豊かな自然環境と大都市の利便性を享受する豊かで潤いのある生活や多様な働き方の実現

リニア環境未来都市の目指す姿



# リニア環境未来都市の創造に向けて

## 検討体制



# リニア駅周辺と駅近郊の立地状況

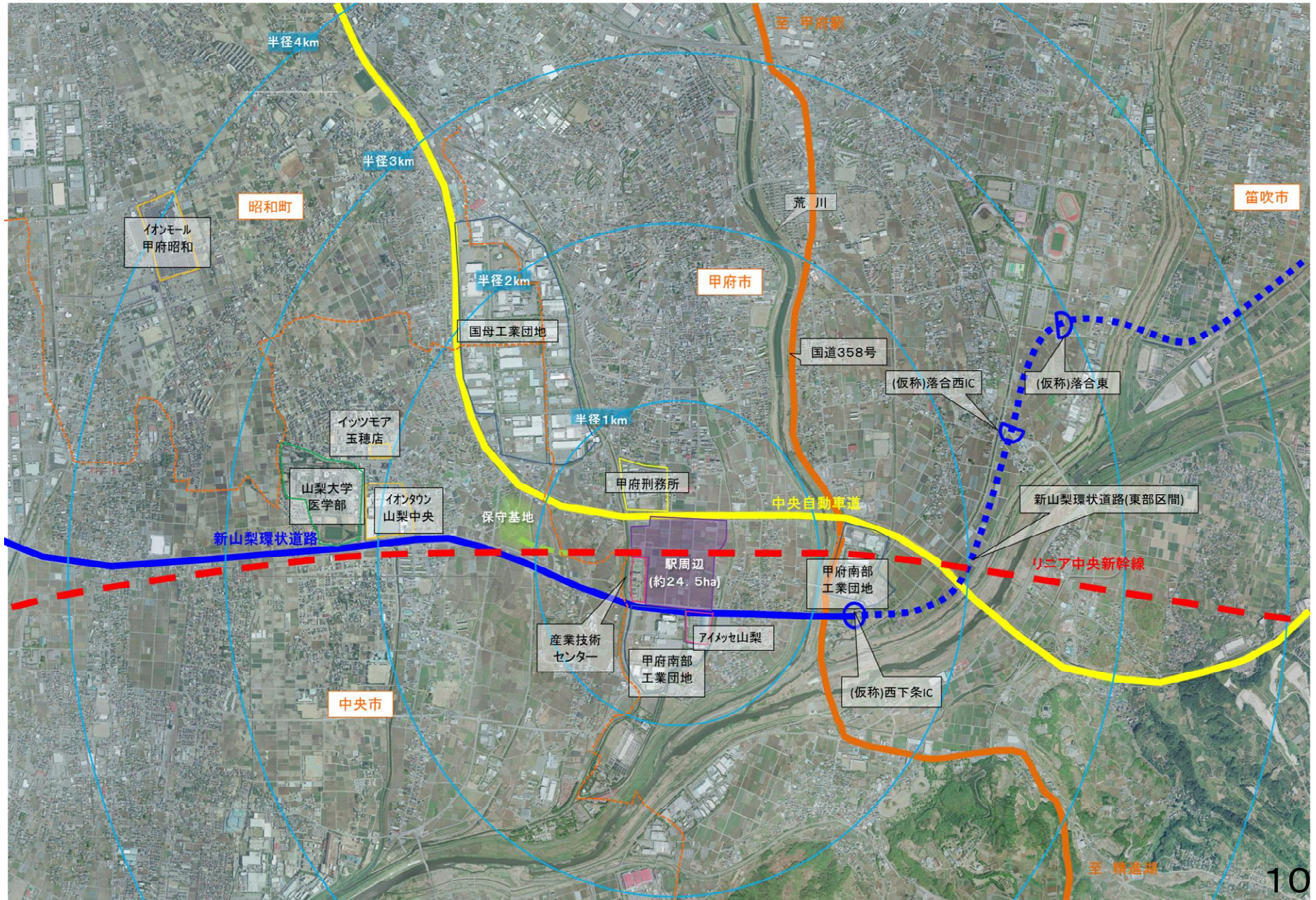
## ○河川、里山、田園など豊かな水と緑に囲まれたエリア



- 中央自動車道、新山梨環状道路の基幹道路、JR身延線など、交通ネットワークが充実
- 工業団地、病院、スポーツ公園など、産業・生活関連施設が立地

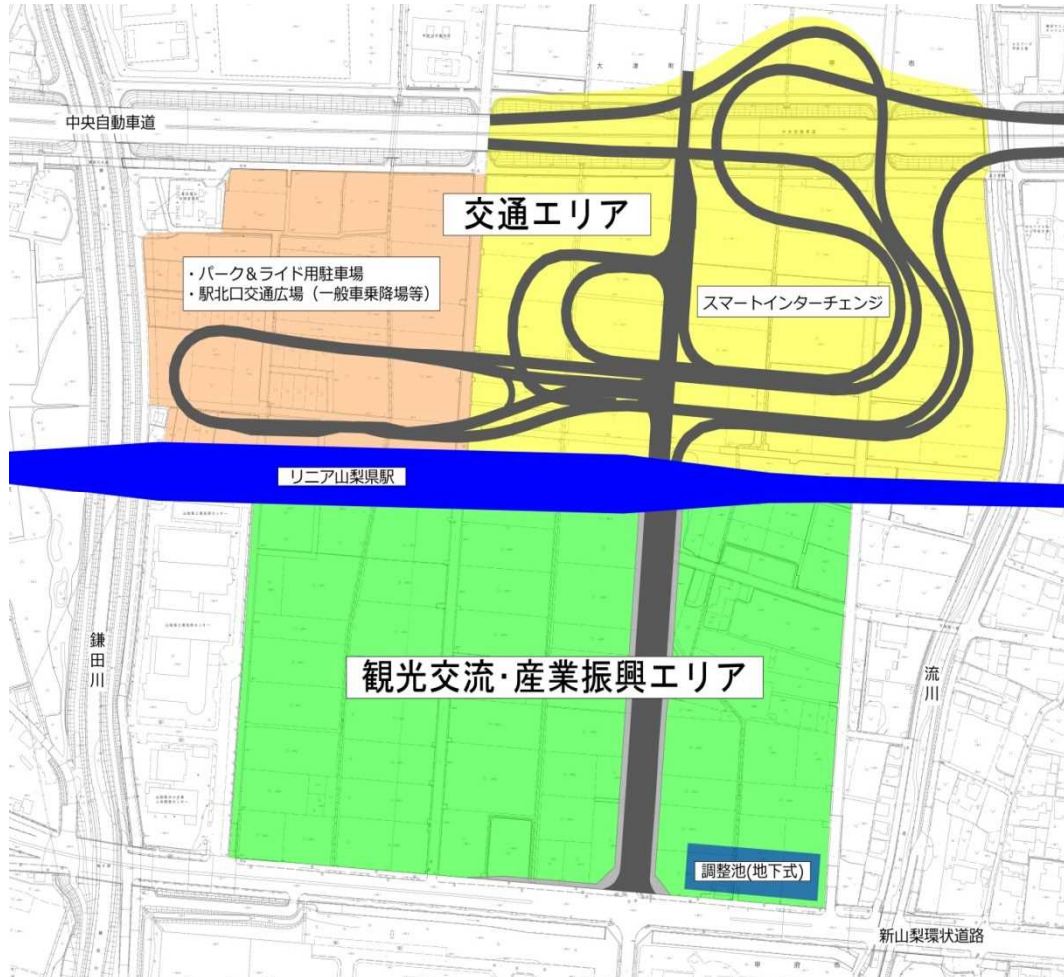


# リニア駅周辺と駅近郊の立地状況



# 全国初の高速道路と新幹線が直結する立地環境

## 【駅周辺】



エリア名	面積	備考
交通エリア	14.0 ha	駅北口交通広場、P&R等含む (中央自動車道本線部分除く)
観光交流・ 産業振興エリア	10.5 ha	駅南口交通広場、 緑地やイベント広場等含む
【合計】	24.5 ha	(リニア駅、本線部分を除く)

豊かな自然環境のもと、  
国内外から多くの人々が集う  
**「世界に開かれた交流拠点」**  
の形成を目指す

## 【導入機能】

交通結節機能

情報発信機能

インフォメーション機能

サービス提供機能

宿泊機能

飲食・物販機能

交流機能

コンベンション機能

広場公園機能

公共的機能

産業振興機能

研究開発機能

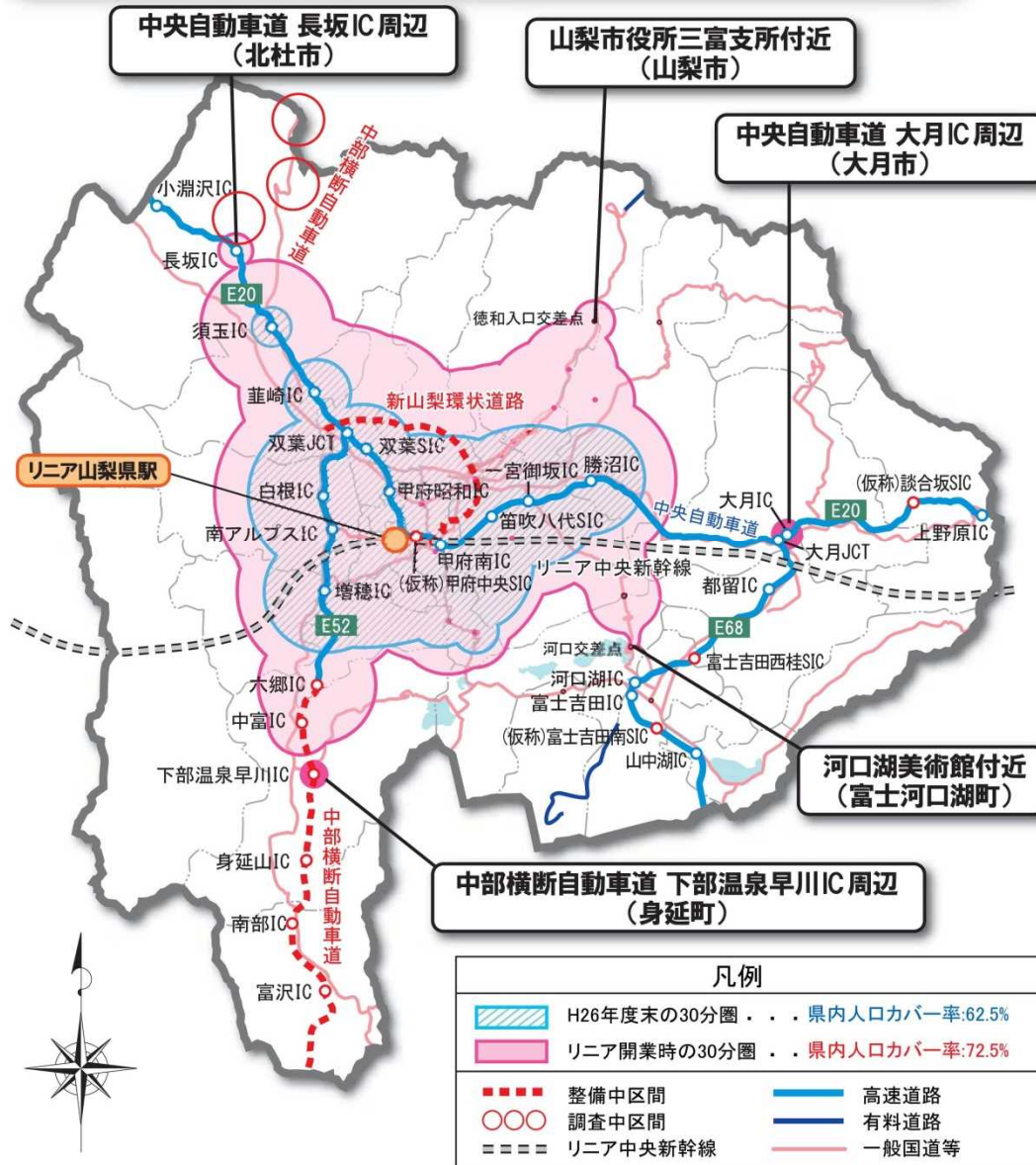
オープンイノベーション(交流)機能

情報発信・ゲートウェイ機能

人材育成機能

# 県内交通ネットワークの整備

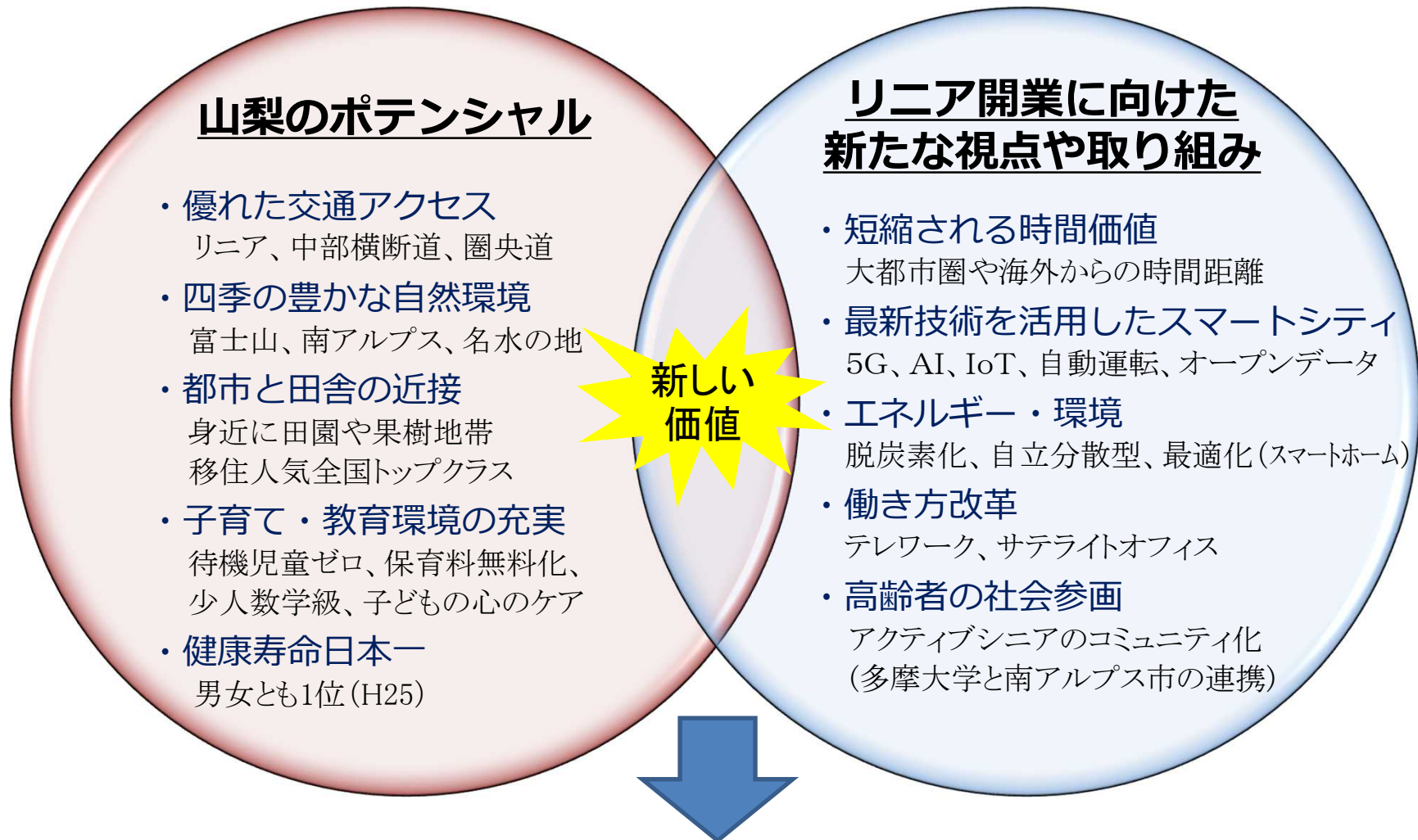
## リニア駅から30分以内にアクセスできる圏域



- 主要幹線道路等の整備によるリニア駅30分アクセス圏域の拡大  
(目標:人口カバー率72.5%)
- リニア駅と甲府駅を結ぶ必要な道路の整備と速達性・定時性・利便性等を備えた交通システムの構築
- 県内バス交通ネットワークの再編・整備

リニア開業効果を  
県内全域で最大限享受

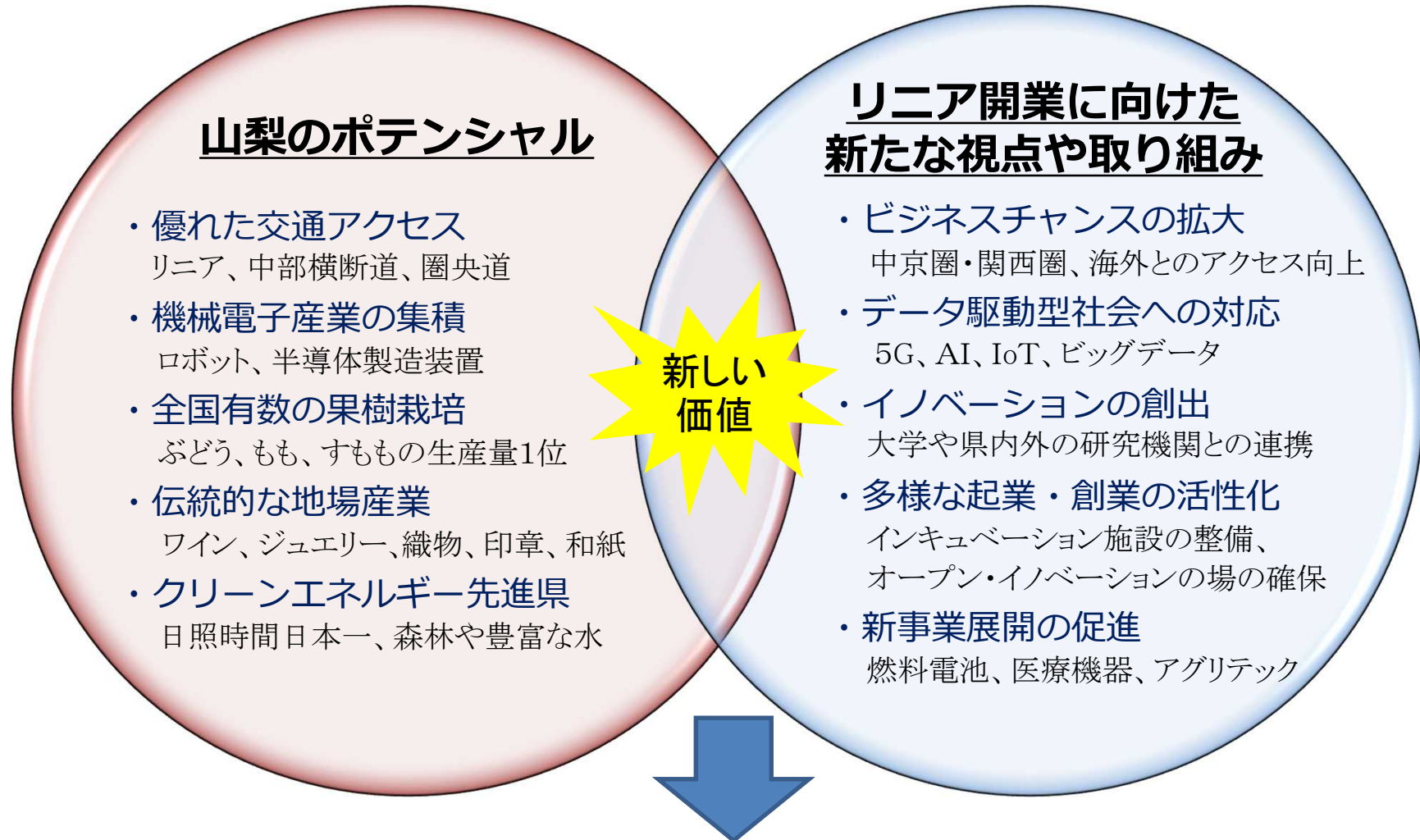
# 定住の促進と新たなライフスタイルの展開



## 大都市圏にない良好な住環境を提供

東京で働き山梨に住む、余暇活動の充実、自然と触れ合う機会の増加、子育てや介護への対応、高齢者の居場所の創出など、様々なライフスタイルにあった暮らし方を実現

# 新たな産業や機能の集積

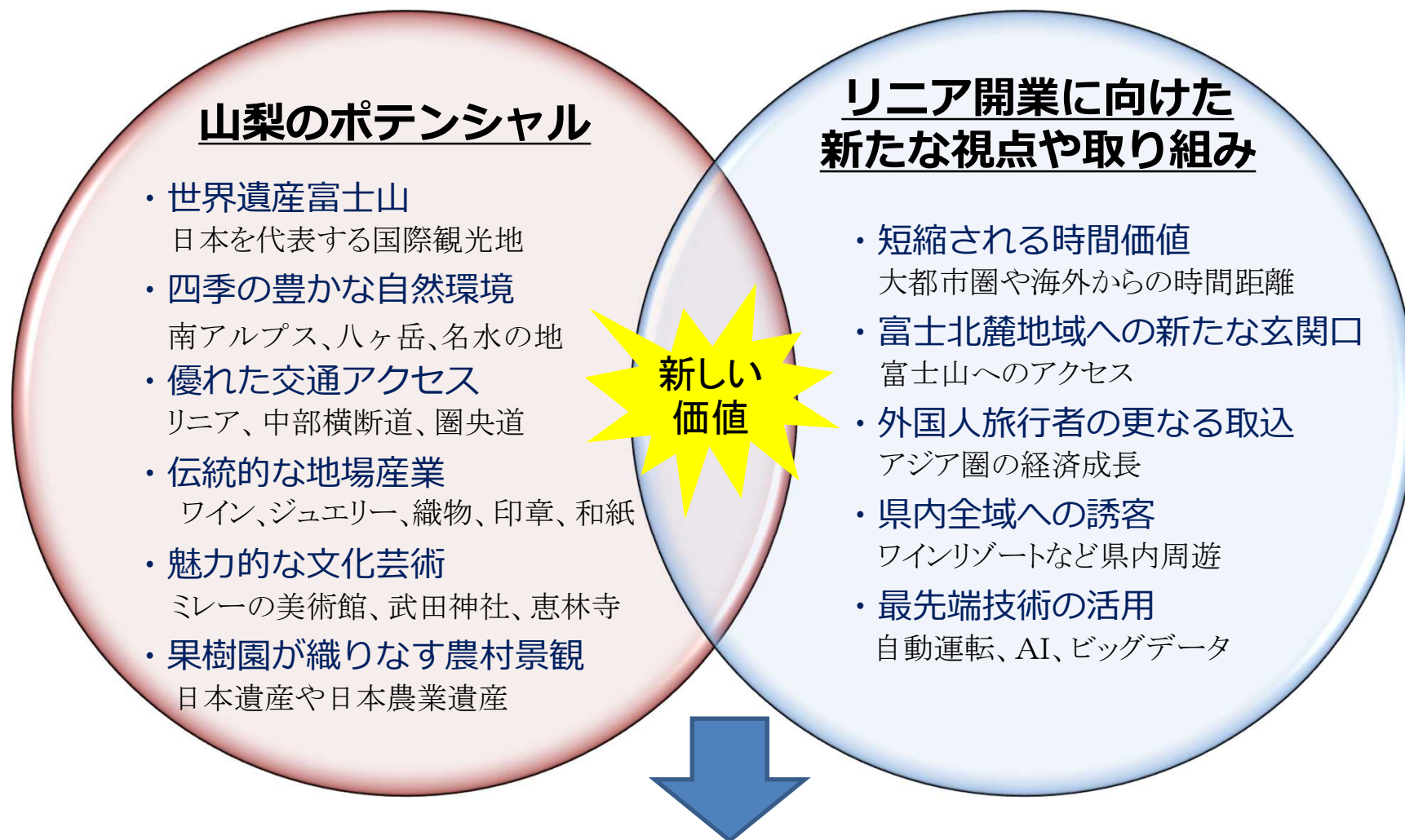


## 未来のものづくりをリードする戦略拠点の形成

リニア駅を中心に「ヒト・モノ・情報のクロスポイント」の中核となる拠点を形成し、戦略的な産業の集積、県内産業をリードする人材の育成、イノベーションを通じた起業の競争力の強化などを積極的に推進



# 地域資源を生かした多様な観光の展開



## 魅力を生かした多様なツーリズムの推進

県内各地の魅力的な観光資源を活用した山梨ならではのツーリズムの開発を進める中で、リニア駅を起点、終点とする周遊型・滞在型観光を推進

# リニア開業を見据えた広域交流拠点の形成

首都圏西部は、  
自然、歴史、文化、食など、  
多様な地域資源を有するエリア

リニア山梨県駅を中心として、  
東京圏とそれぞれの地域が、  
高速交通ネットワーク等で結ばれる

対流型首都圏の構築に向けた取り組み

- ①広域交流拠点の形成
- ②国際的な観光コンテンツと、  
広域観光周遊ルートの創出
- ③都市・農山村対流の強化
- ④関連インフラの整備

(首都圏広域地方計画PJ4-5より)

- 駅周辺整備に対する財政支援
- 高規格幹線道路等の整備に向けた支援

(中央道小仏トンネル付近渋滞対策、新山梨環状道路北部区間など)





リニア実験線と南アルプス